

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーを識り、  
奉仕を実践し友情を深めよう」



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム  
2560地区ガバナー 田中 政春  
高田ロータリー会長 本山 秀樹  
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

## 第8回例会 ■ 8月26日(金)

No.8

### 会長挨拶 ● 本山 秀樹



皆さんこんにちはー

リオオリンピックも終わり、ようやく普段の生活に戻ったのではないのでしょうか。でも、日本選手の活躍は素晴らしかったですね。金メダル12個を含む41個のメダルは史上最多でした。特にレスリング女子の活躍は素晴らしかったと思います。私は、高校時代ラグビーをやっていたのでオリンピックでは初めて開催されたラグビーのセブンズに興奮しました。今回のオリンピックでも格上のニュージーランドに勝つなど男子は4位、女子は10位でした。実は、8月24日はラグビーの日でした。ラグビー精神を表す言葉として野球、テニスでは、試合終了を「ゲームセット」と言いますがラグビー用語では「ノーサイド」です。試合が終われば敵味方の境は無く、同じ仲間という精神から来ています。でも、現在では「フルタイム」と言うそうですが、今の世相を見てもう一度「ノーサイド」を考えてみたらと思います。

さて、8月7日に地区運営検討会が開催されました。この会の趣旨は、地区運営のスリム化と機能強化、ガバナー選出基準の制定とあります。具

体的にはガバナー事務所の固定化とガバナーの選出を分区単位の輪番制にしようというものです。今後クラブで検討して行きたいと思います。

### 出席報告

出席率 92.45%

### メイクアップ

加藤卓也君（8/23 直江津 RC「上越地方の電源開発について」卓話）

チャールズ・C・ストラットン君（8/27 国際奉仕セミナー）

東山昶也君（8/28 地区諮問委員会）

高坂光一君・橋詰敏一君・伴 長門君（8/28 高田 RAC 早朝清掃）

### 委員会報告

出席・ニコニコBOX 委員会

横山修一君——本日仲町4丁目にすりみ居酒屋「銀ちゃん」をオープンいたします。是非ご来店下さい。

佐藤 信君——きもの展の案内をさせて頂きました。佐藤さんは良い人なので安心して下さいと奥様に伝えて下さい。

## 幹事報告

配布物：週報No.7、ガバナー公式訪問記念写真

回覧物：上教大学園だより「JUEN」

報告：9月のロータリーレート 102円/ドル、  
笠谷吉春君退会報告

## 卓話 陸上自衛隊の教育訓練の現状と熊本大地震で感じたこと



陸上自衛隊第2普通科連隊長 1等陸佐 二宮 充史様

今年の3月23日付けで着任した二宮と申します。出身は福岡県三池郡高田町で同じ名前の駐屯地に赴任したのも何かのご縁を感じます。なおかつ第2連隊で名前が二宮という点も縁を感じるようです。本日は陸上自衛隊の教育訓練の現状と熊本大地震で感じたことについてお話したいと思います。

まず、教育訓練ですが、陸上自衛隊5つの方面隊に分かれてそれぞれ地域ごとの特性に応じ訓練をしております。我々が所属しているのは第12旅団で担任区域としては日本一広い区域を約三千数百名で担当しています。日本で唯一の空中機動部隊を有するのが大きな特色です。身軽に動くために重戦車は保有しておりません。日頃の訓練ですが、射撃訓練は富士や関山演習場になります。高田駐屯地については日本有数の豪雪地帯としての訓練も実施しております。昨日北朝鮮のミサイル発射がありましたが、地域に応じた訓練も実施しております。西部方面隊の九州の鎮西演習では九州全域を使って他の方面隊の増援部隊も受け入れて1万5千人から2万人の人員で訓練を実施します。

また、今作り上げようとしているのが海自や米海兵隊と合同の水力両用作戦です。国内には良い演習場所がないのでアメリカに行って実施します。2年前のハワイのリムパックには私も参加しました。北方の北部方面隊は冷戦崩壊後脅威が少なくなったので部隊が減っていますが、部隊の配置上の理由もあり重戦力に対処する訓練を実施し

ています。

続いて熊本大地震で感じたことですが、4月16日に発生した2回目の地震では奇襲を受けた感じで朝の5時に電話があり登庁しました。7時には隊員がほぼ集まり8時30分には先発隊が出発しました。約1200kmを24時間で前進しました。私も8時50分に出発して翌日の9時には阿蘇市内に入りました。復路は安全最優先で3日かけて帰りました。不眠不休でこういうことができるのは、より厳しい条件で戦闘訓練をやっているからです。訓練に際しては騒音等の苦情もありますが、いざという時には必ず役に立ちますのでご支援とご協力を頂きたいと思います。阿蘇市で感じたことは、地域住民との意思疎通ご協力が重要ということです。救援に行った我々が地域の皆さんに助けられたと感じることもあり、これからも地域の皆さんと密接に連携していきたいと思います。もう一つは義の心を持って活動する隊員に感謝ということです。災害派遣部隊は通常災害派遣という白い布に部隊名を書きますが、我々の部隊には書いてありません。私がもっと目立つようにしたらと提案したら隊員から怒られました。高田の人間は人が困っているから助けに来たのに、目立ことはしたくないという隊員の思いの表れで、謙信公の義の精神に通じ感激いたしました。このように素晴らしい隊員とともに地域の皆さんと連携しながら国防に民生の安定に災害派遣に一所懸命やっていく所存ですのでご指導よろしく願います。